

版送ゴムローラー（下、チェーン駆動）の交換手順

KAP-初期機用 チェーン駆動の版送ゴムローラー（下）の交換

1.メイン電源をOFFしてください

電源をOFFにし、作業中の巻き込みを防止してください。

2.外カバーを外します

ドライバーでネジを取り外し、外カバーを外します。

3.チェーンを緩めて外します

3-1のチェーンテンション調整用のA、B六角ボルトを緩めます。

スプロケット固定金具が緩みますのでチェーンを外してください。

チェーンの緩みが不十分な場合は、A、B六角ボルトを取り外しスプロケット固定金具ごと取り外してください。

KAP機のチェーン写真



3-1

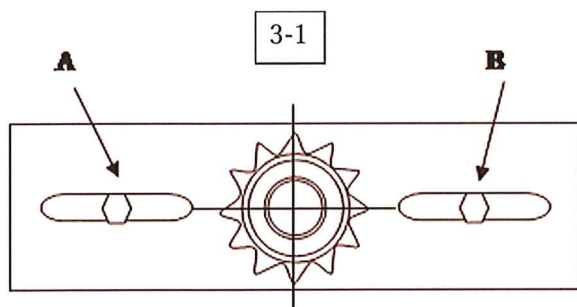
拡大写真



3-1

テンション用スプロケット（3-1）

機種により下図スプロケットが異なります



A、Bはスプロケット
調整用六角ボルト



投入口付近のローラーにはプラスチックギアが付いていますので、投入口付近の下ローラーを交換する場合は、先にこのギアを六角レンチを使用して取り外してください。

4.必要な場所のチェーンを外します。

ドライバーなどの金属の棒で外すか、テンション用のスプロケットを完全に取り外して取ります。チェーンのスプロケットへの掛け方を写真を撮るかメモしておいてください。

5.ローラーに付けているスプロケットを取り外します。

六角レンチのM3を使用します。

40Φ用

60Φ用

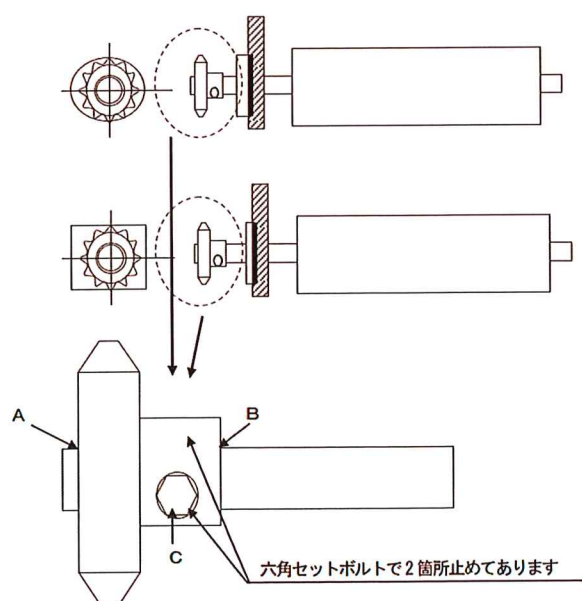


スプロケット



(スプロケット概略図)

※軸受けには2種類あります。(ベアリング入り軸受け、ポリスライダ軸受け)



●ベアリング入り軸受け（機種による）
端の下ローラーになります。

●ポリスライダ軸受け
下ローラーになります。



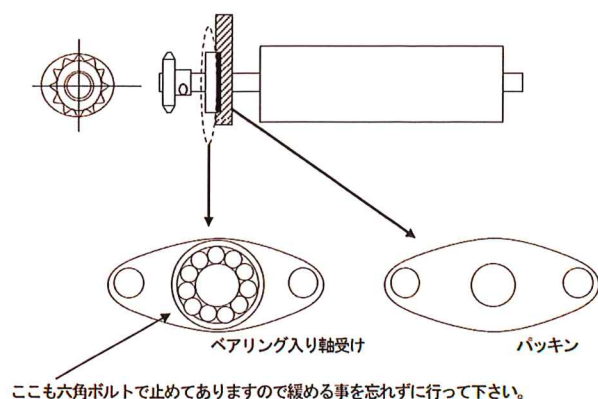
- ①Cの六角セットボルト2箇所を緩めます。
- ②A方向へスプロケットを取り外します。
- ③取れない場合、Bからギアプーラーで外します。

写真はギアプーラー



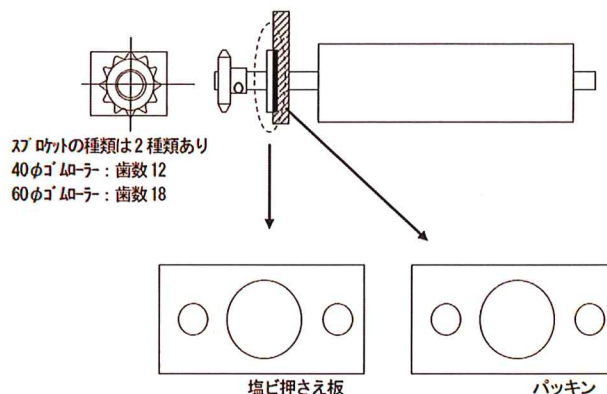
6.軸受けを外します。

(ベアリング入り軸受けの場合)



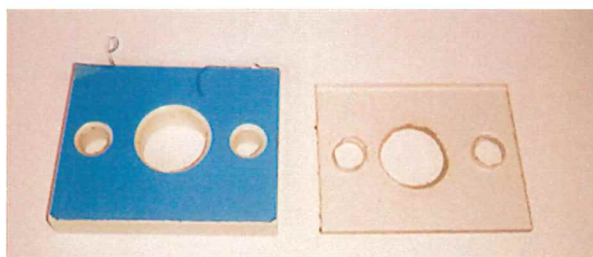
- ①ベアリング入り軸受けの六角ボルトを緩めて下さい。
- ②ベアリング入り軸受けの土台部2箇所のネジを取り外して下さい。
- ③パッキンがついていますが、軸受けが取り外せます。

(ポリスライダー軸受けの場合)



- ①ポリスライダー軸受けの土台部2箇所のネジを取り外して下さい。
- ②パッキンがついていますが、軸受けが取り外せます。

塩ビ押さえ板



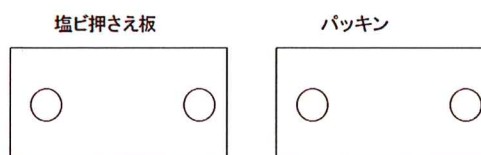
◆反対側の軸受けも同様に外して下さい。

※ポリスライダー軸受け部にはポリスライダーが入っています。ポリスライダーを失わないよう気を付けて下さい。ポリスライダーは消耗品です、摩耗が激しい場合は交換になります。

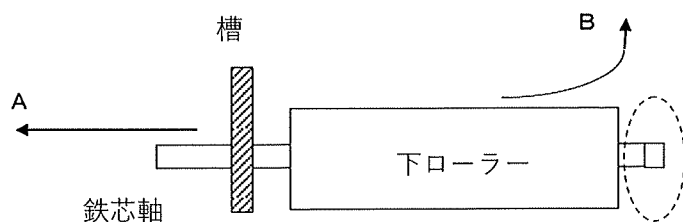
ポリスライダー



(反対側の軸受け)



7.下ローラーの取り外し



①軸をA方向（スプロケットギア側）へ移動させ反対側が槽よりB側が外れます。ローラーが重たいので注意してください。

②軸をB方向へ持ち上げますと下ローラーが槽より抜けA側が取り外しができます。

8.下ローラーの取り付け

取り外しの逆手順で行ってください。

ポリスライダーの取り付け、パッキンの取り付けを忘れないようにしてください。

9.ゴムローラーを調整します

上下ゴムローラーをセットし終わったら、⊕ドライバーでネジを締めます。

左右均等に徐々に絞めていき、ブロックが手で動かしても動かなくなったら

一旦止めます。この作業を左右同様に行い、そこから1～1.5回転締めて終了です。

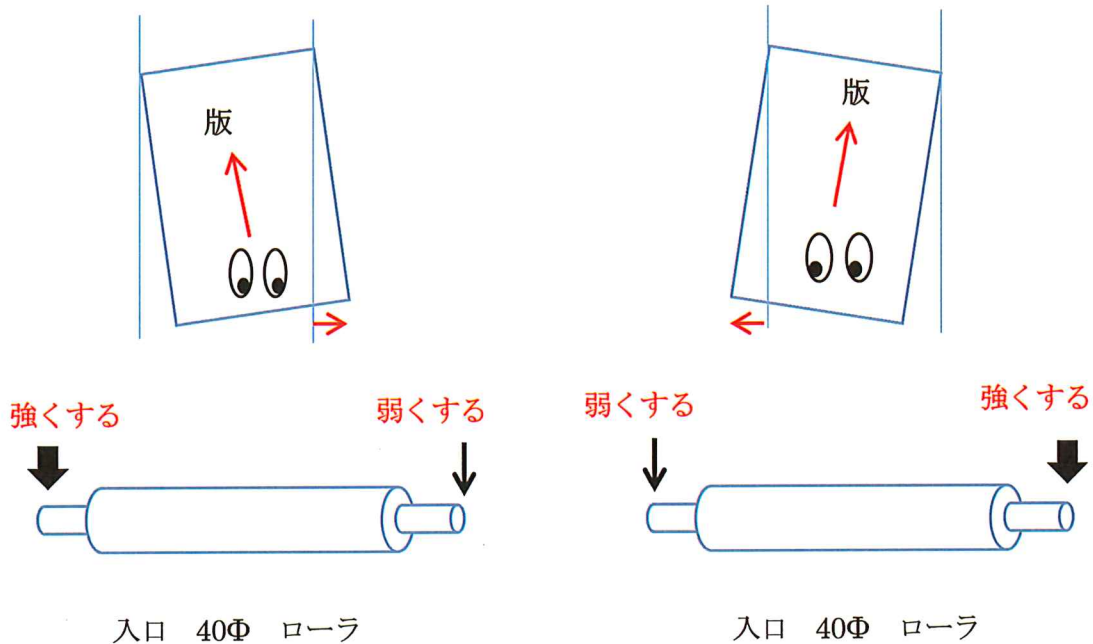
10.版送の確認をします

挿入後の版の進行状態はどうですか？

版は直進していますか？

版尻が左か右に曲がる場合は調整が必要です。

① 版尻が右に曲がる場合 → 左側のローラ圧を強める。 又は、右側のローラ圧を弱める。	② 版尻が左に曲がる場合 → 左側のローラ圧を弱める。 又は、右側のローラ圧を強める。
---	---



押さえブロック

ローラ圧の調整方法

ローラを上下重なるように設置し、押さえブロック（左図）が動かない程度に軽くドライバーで締めて下さい。
押さえブロックが動かないことを確認したら
1/2～1 回転程度ドライバーで締めて下さい。
締め過ぎは液絞りや版の送りに影響が出ますので注意して下さい。